

# 畜大だより

OBIHIRO UNIVERSITY OF AGRICULTURE AND VETERINARY MEDICINE

2021. 4. 1



## 目次

新入生諸君へ	学	長	奥田	潔	1
課程・別科紹介	共同獣医学課程	教授	小川	晴子	2
	畜産科学課程	教授	手塚	雅文	3
	別科	教授	松井	基純	4
在来生所感	共同獣医学課程	2年	高橋	陽苗子	5
	畜産科学課程	2年	吉川	直輝	5
	畜産科学課程	2年	北海	人	6
	別科	2年	高谷	千尋	6
入試・教務課から 学生支援課から	学位記並びに修了証書授与式が行われる				7
	飲酒について				8
	SNS利用にあたって				8
	悪徳商法にご注意!				8
	交通事故防止				9

新入生諸君へ



## 「人生の歩む道を見つける時間」

学長  
奥田 潔

新入生の皆さん、入学おめでとう。これからスタートする大自然の中での大学生活に期待で胸を膨らませていることと思います。

本学は、日本の食料基地として知られる広大な十勝平野に位置し、日高山脈から大雪山系へと連なる山々の裾野から太平洋へと広がる大地と遮るものがない大空を背景に、四季を通じて美しい自然を満喫することができます。このような恵まれた自然環境は皆さんの多様で個性的な夢と希望を迎え入れ、農学・畜産学・獣医学を修めるのに最適の環境であるとともに、研究においても十勝に存立する5つの国立・道立研究機関と共同研究を実施するなど大変恵まれた環境となっています。「高度な知識と技術を身に付ける」という初心を忘れることなく、この土地の利を活かし有意義な学生生活を送っていただきたいと思っています。

本学は、「食を支え、暮らしを守る」人材の育成を看板（ミッション）として掲げ、実学（実際に役立つ学問、応用を重んじる科学）を基調とした教育・研究を展開しています。農学とは、食料の確保だけでなく、「食の安全・安心」を担保し、生命や生活を保障するための多くの課題を見だし、解決していくための学問です。国際的なボーダーレス化が進む中、食料自給率の低下、農業者の高齢化、農地面積の減少、農村の活力低下など、日本の食料生産をめぐる情勢は大きく変化しています。こうした情勢の変化に対応するため、本学は国際レベルの教育・研究を目指し、日本における大学施設としては初の国際食品安全衛生基準（FSSC22000）や国際安全試験所基準（ISO17025）を取得し、教育・研究に活用しています。卒業生の多くは、本学のミッションに沿うように、獣医・農畜産業社会における専門家として、日本ばかりでなく海外でも多彩な活躍をしています。

皆さんは本学に入学した目的は明確ですか？まだ、漠然としている人が多いのではないのでしょうか。本学では皆さんが専門課程に進む際（2年生）に所属するユニット毎に、どのような人材を育成するかの理念（ディプロマポリシー）と共に、それを達成するための必修科目や選択科目など、卒業時点までに習得すべき講義・実習科目などを示した「履修の手引き」が用意されています。また、科目ごとに勉学をスムーズに進めるための案内書（学習計画書）として「シラバス」が用意され、そこには学習達成度（成績）を評価する指標も示されています。しかし、大学は人生の道筋（プラン）までは立てられません。まだ具体的な目標の決まっていない人も、いつか自らの人生の進む方向を決断し、それに向かって歩み始めなければなりません。

畜産科学課程の入学生には4年間、共同獣医学課程には6年間、また別科には2年間の時間があるので「人生の目標・方向」が決まっていなくても焦る必要はありません。皆さんには、大学を目指した初心を忘れず高い志を持ち続け、講義や実習に積極的に取り組むことはもちろん、クラブ活動やボランティア活動など課外活動にも積極的に参加して「人間力」を身に付けて欲しいと思います。講演会や音楽会など文化的イベントにも積極的に足を運び、多様な人々の考えや文化に触れる事も大切です。そうしたプラスアルファの活動こそが、多種多様な人々や文化を受け入れられる幅広い人間性を育むに違いありません。

本学は、皆さんが「人生の歩む道」を自ら見だし、自信を持って歩めるようになるお手伝いをします。勉学はもちろんのこと、多くの事に積極的に取り組み、本学ですぐず時間が皆さんの「人生の歩む道を見つける時間」になることを願っています。

## 課程紹介



教授  
小川 晴子

## 共同獣医学 課程

帯広畜産大学共同獣医学課程の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんのご入学を心から歓迎いたします。2019年12月に出現した新型コロナウイルスは、2020年の年明け以降に世界中で感染拡大を続け、3月にはWHOがパンデミックを宣言しました。2020年は、ワクチンも治療薬もない新たな感染症に対する戦いを続ける中、私達の日常生活は大きく変わることとなりました。みなさんにとっては、受験生活の大事な時期にあたり、様々な影響があったこととお察しします。そんな中、努力実って難関を突破されたみなさんは大きな喜びに包まれているものと思います。大学生活への期待に胸を膨らませている今の気持ちを大切に、獣医学を修めて獣医師を志す学生として充実した大学生活を送っていただきたいと思います。

帯広畜産大学と北海道大学による共同獣医学課程は獣医学教育の欧州基準認証の取得をめざしてきましたが、2019年12月に欧州獣医学教育機関協会による認証を取得することができました。今後も、国際的・社会的にリーダーとして活躍する獣医師の養成を目指し、我が国の獣医学教育水準の向上に取り組んでいきます。

みなさんは本学の教員だけでなく、北海道大学の教員による獣医学関連の専門科目の授業を受講することになります。本学は“日本の食糧供給基地”である北海道十勝という恵まれた自然環境に囲まれている上、産業動物施設、食肉検査施設、毒性、微生物および病理に関する検査・診断施設を含む多くの最先端設備を備えています。特に産業動物獣医療や衛生学分野に関しては国内でも特色のある教育を提供しています。一方、北海道大学からは人獣共通感染症や伴侶動物獣医療分野などに関する獣医学教育が提供されます。専門教育においては教員間の相互乗り入れだけでなく、両大学の学生が一同に会して

開講される演習や実習もありますので、情報交換や親睦を深める機会にさせていただきたいと思います。

共同獣医学課程における1年生の授業は教養科目が中心となりますが、獣医学を学ぶにあたって必要不可欠な基礎知識や教養を習得し、広い視野で獣医学を学ぶ必要性について獣医学導入科目で学習します。本学の特色ある授業のひとつである農畜産演習では“様々な生き物のいのちをいただきながら私たちは生きている”ことを知る機会を得ることでしょう。2年生から始まる本格的な獣医学専門教育では、基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学、臨床獣医学の各分野の講義や実習により体系的に学ぶこととなります。獣医学にとって非常に重要な畜産関連分野についても学びます。各分野の専門科目数は多く、各科目の単位取得においては多くの知識量を求められます。2年生、4年生、5年生への進級時には、教養科目および獣医学専門科目の必要単位数を修得しなければ進級できないシステムになっています。また、5年生から始まる参加型臨床実習、いわゆる“ポリクリ”の受講条件として、共用試験に合格する必要があります。さらに、専門科目の仕上げとして、研究室に配属し指導教員とともに特定の課題研究に取り組み、その成果をまとめあげることになります。これら全てをクリアした学生さんのみが獣医師国家試験の受験資格を得ることになりますので、十分心して学業に励んでください。

共同獣医学課程は今年で10年目を迎えます。一昨年度から新カリキュラムによる教育をスタートさせ、この春、10期生である皆さんをお迎えしました。みなさんが卒業する時に“帯広畜産大学で学生生活を送って本当に良かった”とっていただけるよう、教員も全力で努力していきます。一緒ががんばっていきましょう。

## 課程紹介



教授  
手塚 雅文

## 畜産科学 課程

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、ご家族の皆様にも心よりお喜びとお祝いを申し上げます。

本学は国立で唯一の農畜産系単科大学として、今年創立80周年の節目を迎えます。単科大学とはいえ本学がカバーする学問領域は広く、畜産科学課程には生命・食料・環境の多様な分野を科学する家畜生産科学、食品科学、環境生態学、植物生産科学、農業経済学、農業環境工学の6つの専門ユニットがあります。一年次、皆さんは各ユニットが開講する「農畜産科学概論Ⅰ～Ⅵ」と、それに連動した「全学農畜産実習」を受講します。これらの入門科目は教養科目や語学とともに、基礎を固めて視野を広げていく上でとても重要なステップとなります。農畜産とは命を育みながら命を利用する人類にとって必要不可欠な営みです。生命とそれを育む環境、そしてそれらを利用して作り出される食料について深く考えることで、食料生産を支える“心”を育みます。

二年次からユニットに所属し、知識を理論的、かつ系統的に深めていく過程に入ります。このあたりから大学らしい内容の講義や実習が増えてきます。ここで取り残されないように基礎をしっかりとおさせておくことが重要です。

三年次になるとさらに専門的な展開教育が始まります。後期からは研究室に所属し、担当教員の指導のもとで卒業研究に取り組みます。卒業研究は主体的に研究に取り組む科目で、もっとも大学らしく、4年間の集大成とも言える過程です。進路の選択や研究がうまくいかなかったりして悩むことも多い時期ですが、大学時代の思い出の多くはこの時期に作られます。

この過程で研究の面白さや研究者としてのキャリアに目覚めた人には大学院への進学をお勧めします。大学院畜産学研究科畜産科学専攻ではユニットに対応したコースに加え、動物医科学コースの7つの修士課程コース（博士前期課程：2年間）と、それに続く博士課程（博士後期課程：3年間）を提供しています。

本学は全学生数が1,500人前後の規模が小さい大学ですが、全国から学生が集まっています。またア

ジア、アフリカ圏を中心に多くの国々からの留学生を受け入れており、教員の多くも海外の試験研究機関との共同研究やJICAの研修コースなどに関与している国際色豊かな大学です。海外の大学やJICAとの連携協定などを通して海外研修、留学などの機会も用意されています。多様な人々が集まる小さな大学だからこそ可能になる人と人の繋がりが感じられる大学です。

本学は北と西をほぼ手付かずの自然が残る大雪山系と日高山脈に、東と南を太平洋に向かって広がる丘陵地帯と湖沼地帯に囲まれた十勝平野のほぼ中央に位置しています。国内有数の農畜産地帯である十勝には大規模かつ先端的な農家や企業が多く存在する一方で、チーズをはじめとする多種多様な個性的な乳肉製品や農産物を生産している中小規模の農家も数多く存在します。まさしく農畜産を学ぶ上で最適な実学環境と言えるでしょう。「食は人なり」と言いますが、豊かな食生活を通して食を知り、食を楽しむことも農畜産や食料生産を学ぶ上で重要な実学となります。農畜産学の学びは大学のキャンパスを遥かに超えて広がっているのです。

現在食料や環境の問題が世界規模で急激に深刻化しています。私たちに残された時間はもうあまりないとも言われています。生命・食料・環境の視点から食料生産を考え問題解決に取り組むことには、地域や国を超えた大きな意義があります。古から人類の生業であった土地に根差した農畜産業は、今やグローバルな視点が要求されるライフライン産業となったのです。

入学後皆さんの多くは親元を離れこの地で新しい生活をはじめることになります。今までに経験したことがない悩みや困難にぶつかることもあるでしょう。

そんな時、自分自身で考え、問題を解決し、前に進む勇気を持ってください。失敗したってかまいません。少しずつでもOKです。百数十年前、未開の原生林に鋤を打ち込んだ先人たちのように。

5月になれば、十勝野に溢れるような春がやってきます。澄み切った大気と降り注ぐ陽光のもとで、皆さんが生き生きと新しい生活を始められることを祈念しています。

## 別科紹介



教授  
松井基純



別科新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。別科主任を務めます松井基純です。よろしくお願いたします。今、皆さんは大学での新しい勉学、活動に向けて、少しの不安を抱きながら緊張気味かもしれませんが、ぜひ、帯広畜産大学での活動に期待を抱き学生生活をスタートしてもらいたいと思います。

まず、別科の生い立ちから紹介します。昭和16年（1941）に帯広畜産大学の母体となった帯広高等獣医学校が創立され、本学別科はその19年後の昭和35年（1960年）4月1日に別科（草地畜産専修）として産声をあげました。つまり、皆さんが入学する令和3年（2021年）は創設から62年目となります。これまでの約60年間に1200人以上の皆さんの先輩が巣立っています。このように、歴史ある別科ですが、昨年度より、別科・酪農専修として生まれ変わりました。

新しい別科・酪農専修では、現在の我が国の酪農産業の多様性、つまり、高効率大規模経営化、搾乳ロボットなどの先進技術の普及、放牧酪農や有機酪農などの特色ある飼養形態、加工・販売まで手掛ける6次産業化や観光農場及び酪農教育ファームなどに対応できる人材を育成することを目的として、【酪農に関わる基本的知識と技能を備え、食と農の大切さを基礎として「農場から食卓まで」の幅広い視点で酪農に適応できる知識と実践力を有し、国際的視野で地域の酪農を担い、日本の酪農産業をリードできる人材を育成する。】を教育目標に掲げています。この目標に基づいて、本学学部教員から構成される教員スタッフが、基礎学術科目と専門教育科目を担当しています。基礎科目として、生物、物理、化学などの自然科学や人文科学、英語などを学びます。

専門科目では、畜産学、草地学、農業機械学、農業経営学等に関する講義や実習が準備されています。履修する際には、基礎科目と専門科目ともに必修科目と選択科目を含んでいますので、それぞれの修了要件単位数に十分注意してください。配布された履修要覧を良く理解するとともに、分からないところは別科担任の和田先生やクラス担任の木村先生に積極的に質問してください。

新しい別科・酪農専修での特色ある科目の一つとして、「農場実習」があります。「農場実習」では、多様な酪農技術を連携させた教育プログラムを通して、牛群管理～酪農経営のスキルを身につけます。1年を通して季節ごとに異なる酪農技術（牛群管理、圃場管理）と酪農経営（営農計画、生産管理、予算／決算）の実務について、少人数グループでのローテーションにより、体験的に習得していきます。この実習を通じて、卒業時には、酪農現場にて活躍できる能力を身につけてもらいたいと考えています。

今、日本を含む世界各国で、新型コロナウイルスによる感染あるいは感染予防のための様々な活動制限によるコロナ禍が続いています。皆さんも、思いもよらぬ制約の中での高校生活などを過ごしてきたと思います。大学での教育も、いまだ多くの制約を受けている部分があります。でも、安心してください。別科教育においては、フィールドでの実習が多いこと、学生数が少なく密を回避できることなどから、他の学科に比べ、対面での授業・実習を実践できています。存分に学んでもらえる状況にあります。

最後となりますが、皆さんの大学生活を充実させるために、何よりも大切なのは、健康であること、そして、何事にも積極的に取り組むことだと思います。それでは、皆さん、元気よくいきましょう。

## 在来生所感



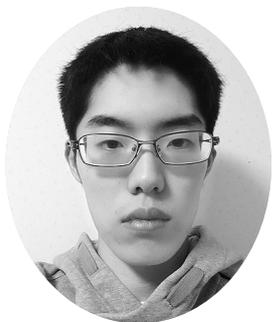
共同獣医学課程 2年  
高橋陽苗子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新型コロナウイルスの流行、初の共通テストなど、今まで誰も経験したことのない状況での受験は不安でいっぱいだったと思います。そのような中で頑張りぬいた皆さんを心から尊敬します。今から大学生活を始める皆さんに、この一年間の私の経験から皆さんに伝えたいことを少し述べさせていただきます。

これからの授業形態がどうなっていくのかわかりませんが、オンライン授業での大学生活では、知り合いがすぐにはできませんでした。皆さんの中にも、その点を不安に思っている方は多いのではないのでしょうか。もし履修登録や課題について、相談できる

人がいなくて不安に思ったら、SNSを通じてでも、隣の部屋やバイト先の先輩にでも、聞いてみてください。優しい人が多いので、きっと誰かが答えてくれると思います。そして、皆さんには、積極的に様々な活動に挑戦してみしてほしいです。部活動、サークルでは、北国ならではのウィンタースポーツや、牛や馬と密にかかわれるものなど、畜大だからこそ体験できるものが多数あります。自分の興味がある活動を楽しめるだけではなく、親しい友人や先輩方との関係ができることも魅力の一つです。また、農家バイトでは、様々な作物の収穫や搾乳など、農業、畜産の現場に直接かかわることができ、とても貴重な経験になります。

大学生活は、受ける講義が同じでもそれ以外の時間をどう過ごすかで一人一人かなり違ってきます。学生のうちにしかできないこともたくさんあると思います。やりたいことを思い切りやってみてください。皆さんの畜大での数年間が楽しく充実したものになることを願っています。



畜産科学課程 2年  
吉川 直輝

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新しい生活が始まって、慣れないこともたくさんあったりして不安かもしれませんが、大丈夫です。それ以上に魅力的なことが待っています。

この帯広畜産大学では様々なことを学べますが、やはり何といっても実習が魅力的だと思います。実習目当てにここを選んだ方も多いかと思います。そんな実習では、皆さんの期待に沿ったものが体験できるかと思います。特に動物が関わる搾乳実習や、豚の飼育などでは、その動物が生きているというのが直で伝わってきます。人やペットとは違う、その圧倒的な存在感にちょっとたじろいでしまうかもし

れないくらいです。本や動画では絶対味わえない体験です。もちろん、実習以外の講義もとても面白いものがたくさんあります。大学では自分で選んで講義を取る点が高校とは違う。と、よく言われますが、もっと違う点があります。それは「濃い」授業があるのです。高校とは違い、先生方の各々の専門の講義となると専門的な知識もそうですが、何より先生方のお話がとても熱心で楽しそうなのです。そんな先生方の熱を帯びた講義をぜひ楽しんでほしいです。

最後になりますが、皆さんは入学するためにいろんな苦勞を乗り越えて、そしてやっと念願の大学生活が始まります。ここでの生活はそれらの苦勞に見合ったものであると思います。いえ、見合ったものにしていくのです。そのためにもいろいろなものを見て、学んで、自分が好きな、打ち込みたいと思える何かを見つけてやってみてほしいなと思います。食べ物と同じように、食わず嫌いなでないいろんなことにチャレンジしてほしいです。良い大学生活が送れるよう願っています。

## 在来生所感



畜産科学課程 2年  
北 海人

新入生のみなさんご入学おめでとうございます。待ち望んでいた大学がいよいよスタートします。楽しみもあると思いますが半分不安もあると思います。都府県から帯広にきて慣れない方も多いでしょう。大丈夫です。大学は本当に楽しく学べる場所です。

大学生活では高校生活と全く違う生活が待っています。例えば自分が勉強したいと考えている講義を好きなように受講することができます。なので、様々なことに挑戦し、楽しい大学生活を送ってほしいと思っています。

大学生活を送る中で、勉強も大事ですが一番大切にしてほしいのは友達、先輩方、先生方です。大学の勉強は高校の勉強と違い学びが深く、難しくなり

ます。そこで勉強を助けてくれる友達。多くの情報を伝えてくれる先輩方。また、勉強の疲れを無くすために一緒に遊んでくれる友達や先輩方。このように私は多くの友達や先輩方に支えてもらいながら大学生活を送っています。また分からないことや質問がある時は先生にメールを送信すると丁寧に答えてくれます。このように大学では先生と生徒の距離が近くなります。だからこそ、友達、先輩方、先生方を大事にしてほしいと思います。

部活、サークルでは面白い先輩や優しい先輩で溢れています。先輩方や友達とともに楽しく、時には厳しく行っています。この大学には他の大学には見かけられない面白いサークルなどがあります。馬の飼育などに携わった馬術部やうま部。北海道の土地を活かした自然探査サークルや冬にはアイスホッケー、スキー部など沢山の部活やサークルがあります。部活やサークルは友達が沢山でき、本当に楽しいので入ることをお勧めします。

では、有意義な大学生活をお過ごしください。



別科 2年  
高谷 千尋

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。

待ち望んでいた大学生活に胸を膨らませ、これから始まる人生最後のスクールライフを楽しみにしているかと思います。コロナ禍の中で都府県から離れ、地元の友達がいない帯広に来る人は不安もあるでしょうし、想像していた大学生活とはならないかもしれません。しかし、サークルや畜大ならではの農家バイトなどでたくさんの人に出会い、たくさんの驚きとワクワクが待っています。新入生の皆さんには、ここでしかできないような経験をたくさんしてほしいですし、特に農家バイトは、のちのち役に立つこ

とがあるのでぜひとも経験してほしいです。

帯広畜産大学は他大学では経験することのできない講義やサークルなどがあります。私は別科なので別科のことを紹介させていただきます。講義では、私たちの代から酪農専修というものになり、今までよりも酪農実習が増え、牛を身近に感じ、現場に近い形になっています。特に、一年生の後期から始まる夕方の実習では分娩直前の牛の体温測定や乳房炎の牛の搾乳など、勉強になることが多いと思います。人数も少人数のため先生方との距離も近く、アットホームな空間で講義を受けられるのは別科ならではのメリットだと思います。受け身になるのではなく積極的に発言をし、将来の糧になるような知識を得てほしいです。

新たな大学生活は、楽しいことばかりではありません。時には地元に戻りたくなることもあると思いますが、志は高く、挫けずに卒業後にここにきてよかったと心から思えるような生活になることを心から願っています。

# 学位記並びに 修了証書授与式が行われる

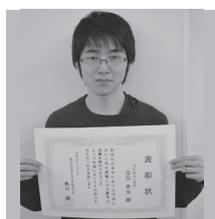


去る3月19日（金）午前10時から本学講堂において、新型コロナウイルス感染症への対策を講じ、令和2年度学位記並びに修了証書授与式が行われました。講堂での様子は、大講義室に中継され、本学ホームページでも公開されました。

挙行に先立ち逍遥歌が流れ、奥田 潔学長から共同獣医学課程、畜産科学課程、別科、専攻の代表に学位記並びに修了証書が授与されました。

また、例年式典では学長より各ユニットにおける学業成績優秀者の表彰も行われていましたが、今年は大学から手交により学業成績優秀者へ賞状の授与及び記念品の贈呈を行いました。

本年度は、学部246名、別科（草地畜産専修）18名、大学院各専攻合わせて39名の合計303名が、畜大での思い出を胸に巣立っていきました。



## ☆ 飲酒について ☆

本学では未成年者の飲酒は、未成年者への酒類の提供、飲酒の強要等を含めて、いかなる場合であっても禁止し、また、退学や停学の処分を行う場合もあります。

コンパ等で飲酒を強要された時は、未成年であることを伝え、はっきり断ってください。拒否したにもかかわらず飲まされた、断れず仕方なく飲んでしまった等の事実があった場合は、学生支援課又は学生相談室で対応しますので連絡してください。

成人に達してアルコールを口にする場合も、下記のことを留意し、楽しく飲むよう心がけてください。

- 自分の適量を守る
- 周りに煽られても一気飲みをしない
- 飲酒後は車の運転をしない

## ☆ SNS利用にあたって ☆

SNS (Facebook, Twitter, LINE 等) を頻繁に利用している方も多いかと思いますが、SNS 利用に関するトラブルが近年増加しています。

自身で情報を発信する際は、

- 他人のプライバシーを侵害していないか  
(他人の写真や情報を載せる等)
- 自身のプライバシー設定は適切か  
(自分の意図しない範囲まで情報が広まる等)
- 迷惑行為をしていないか  
(誹謗中傷や不適切な発言や写真、動画の投稿等)
- 秘密にすべき内容を載せていないか  
(アルバイト先等の内部情報等)

など、トラブルを引き起こすまたはトラブルに巻き込まれる可能性はないかを一度考えてから投稿するなど注意が必要です。

SNS は、自身の身近な人だけでなく、日本中、世界中の人に情報を発信していることを忘れずに良識をもって利用してください。

## ☆ 悪徳商法にご注意! ☆

(大学生は狙われています)

大学生は、社会との関連も深まり、経済活動範囲も広がりますが、社会的経験が乏しいことから様々なトラブルに巻き込まれる可能性が大きい年代です。親元から離れて自立した生活になり、学生本人があらゆる面で契約する機会が多くなります。

物品の購入、アパートの入居等、他人と契約する時は、事前に十分検討し、保護者等に相談したうえで行ってください。

万一、被害に遭った(思われる)場合は学生支援課に連絡してください。相談できる機関等をご紹介します。

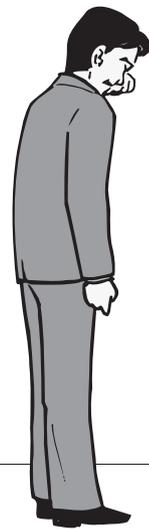
特に若者が被害に遭いやすい悪徳商法の一例は下記のとおりです。

- ワンクリック請求 (パソコンや携帯電話のアダルトサイトで高額な料金を請求する)
- 無料商法 (無料であることを強調して勧誘し、商品等を契約させる)
- サクラサイト商法 (サイト業者に雇われた“サクラ”が芸能人社長などのキャラクターになりすまし、メールの有料サービスを利用させ、その度に料金を請求する)
- デート商法 (間違い電話、メール等で販売目的を隠して近づき、巧みな話術で好意を抱かせ、それに付け込んで商品等の契約を行わせ、その後行方をくらます)
- マルチ商法 (加盟者が新規加盟者を誘い、その加盟者が別の加入者を誘うという連鎖により組織を拡大し、新規加入者や配下の加盟者の支払う加盟料、商売上により自分の利益が増える仕組み。加盟者を勧誘できず、商品は売れず、損することが多い)
- キャッチセールス (繁華街等でアンケート調査と称して声を掛け、事務所等に連れて行き、不安を煽るなどして商品やサービスを契約させる)
- アポイントメントセールス (抽選に当たった、モニターに選ばれた、などと販売目的を明らかにしないで、事務所等へ呼びだし、契約しないと帰れない状況にして商品等の契約を迫る)

# 交通事故防止

## 加害者

1. 精神的苦痛
2. 刑事処分 例（懲役・禁固の実刑, 罰金）
3. 行政処分 例（免許取消, 免許停止）
4. 損害賠償 例（将来の生活を左右することも）
5. 大学の懲戒処分 例（退学, 無期停学, 停学）
6. 卒業の延期 例（国家試験の免許が得られないこともある）
7. 被害者の後遺症等に対する経済的補償



## 被害者

1. 精神的苦痛
2. 働き手を失い、経済的破綻等による将来の不安
3. 家庭が暗くなる
4. 家族がノイローゼ
5. 故人が、毎日夢に出てくる
6. 怒り

苦悩

## 大学構内の交通規制等について

通学での自動車及びバイクの利用については、交通事故防止と教育・研究並びに環境の保全を目的として、一定の条件をもとに許可をしています。皆さんの通学には、徒歩、自転車、或いは公的交通機関を利用することをおすすめしています。

構内道路では、学生と思われる無断駐車が多数見受けられ、歩行者の通行を阻害する等、荷物の搬入、緊急車両の通行に支障が出ています。（駐車場の利用を希望する者は本学が主催する「交通安全セミナ

ー」を受講のうえ「駐車場使用許可申請書」を提出し「駐車場許可証」の交付を受けてください）

また、マフラーの改造等による騒音で授業が一時中断される等教育・研究環境が損なわれつつあります。学外においても、本学学生による不法駐車に対する苦情が多くなっています。（特に隣接する民家等への無断駐車並びに路上への違法駐車は警察に通報が行われます）帯広畜産大学の学生として、良識ある行動を取るよう、切望します。